日本言語学会第155回大会報告

東京外国語大学大学院
総合国際学研究科博士前期課程
佐田　陸 (SATA Hitoshi)

報告内容

- 大会概要
- 口頭発表紹介
  - 浅岡健志朗氏
    「チェコ語の所有文が表す「学校がある」について」
  - 吉岡乾氏
    「ブルシャスキー語スリナガル方言で再構成されだした名詞クラス」

大会概要

- 日時
  - 2017年11月25日(土)、26日(日)
- 会場
  - 立命館大学衣笠キャンパス
- 次回大会
  - 2018年6月23日(土)、24(日)＠東京大学本郷キャンパス
  - 80周年記念講演実施予定

大会概要

- 1日目
  - 口頭発表：8会場、計55件(キャンセル1件)
- 2日目
  - ワークショップ：2件
  - ポスター発表：4件
  - 公開シンポジウム

    Formal Approaches to Subjectivity and Point-of-view

口頭発表紹介

- 浅岡健志朗氏

  「チェコ語の所有文が表す「学校がある」について」

- 吉岡乾氏

  「ブルシャスキー語スリナガル方言で再構成されだした名詞クラス」

浅岡健志朗氏

「チェコ語の所有文が表す「学校がある」について」

発表の趣旨

主語(所有者)+*mít*+直接目的語(所有物)

- チェコ語の所有文が表す関係のカテゴリ
- 「学校がある」を意味する所有文を中心に
- 「フレーム」を用いて説明
  - 「言語表現の意味を規定するのに必要な百科事典的な知識のまとまり」

フレームとは

1.

Ta	*škol-a*	*je*	*velk-á.*
あの.SG.NOM	学校-SG.NOM	COP.3SG.PRS	大きい-SG.NOM

「あの学校は大きい」(1a)

↑<<u>ふつうの「学校」は一定の大きさの敷地や建物をもつ</u>>

2.

Ta	*škol-a*	*je*	*drah-á.*
あの.SG.NOM	学校-SG.NOM	COP.3SG.PRS	高い-SG.NOM

「あの学校は高い」(1b)

↑<<u>「学校」に在籍するためには学費が必要な場合がある</u>>

「学校がある」を意味する文

3. *Má-m* *škol-u*.

mít-1SG.PRS 学校-SG.ACC

「私は学校を所有している」(2a)

＝「「私」が資産としての「学校」を所有している」

4. *Dnes* *má-m* *škol-u*.

今日 *mít*-1SG.PRS 学校-SG.ACC

「今日、私は学校がある」(2b)

→どのようなフレームの側面？所有者との関係は？

「学校」のフレーム

- 主語の「学校での一連の出来事」への参与
  - 学生や教師が登校する
  - 教師が行う授業を学生が受ける
  - 教師は会議をし、ときに保護者と面談する
  - 事務職員は事務作業を行う
  - 各々が昼休みに昼食を食べる …など

所有文*Dnes mám školu.*の表す関係

「出来事に参与する」とは

5. *Dnes* *má-m* *škol-u*

今日 *mít*-1SG.PRS 学校-SG.ACC

ale *ne-půjd-u* *tam.*

しかし NEG-行く.FUT-1SG そこへ

「今日、(私は)学校があるけど、行かない」(3)

- 出来事に参与する意図がなくとも所有文が使える

参与するという主語の意図を含意してはいない

「出来事に参与する」とは

6. *Dnes* *má-m* *škol-u.*

   今日 *mít*-1SG.PRS 学校-SG.ACC

   「今日、私は学校がある」(5a)

7. *Dnes* *je* *škol-a.*

   今日 COP.3SG.PRS 学校-SG.NOM

   「今日は学校がある」(5b)

- (6)は、母からその子である学生に対して言えないが、(7)は言える

「出来事に参与する」とは

「主語が、目的語によって喚起されるフレームに含まれる(一連の)出来事に、何らかの規範に鑑みて、参与するべきである」という関係(関係A)

<学生は授業日には学校に行くべきである>

過去時制でも関係Aは成立

8. *Včera* *jsem* *měl* *škol-u.*

昨日 AUX.1SG *mít*.SG.PST 学校-SG.ACC

「昨日、僕は学校があった」(6a)

9. *Včera* *jsem* *měl* *škol-u*

昨日 AUX.1SG *mít*.SG.PST 学校-SG.ACC

ale *ne-šel* *jsem* *tam*

しかし NEG-行く.SG.PST AUX.1SG そこへ

「昨日、学校があったが、僕は行かなかった」(6b)

類例

10. *Dnes* *má-m* *přednášk-y*.

今日 *mít*-1SG.PRS 授業-PL.ACC

「今日は授業がある」(7)

<教師は授業日にには授業を行わなければならない>

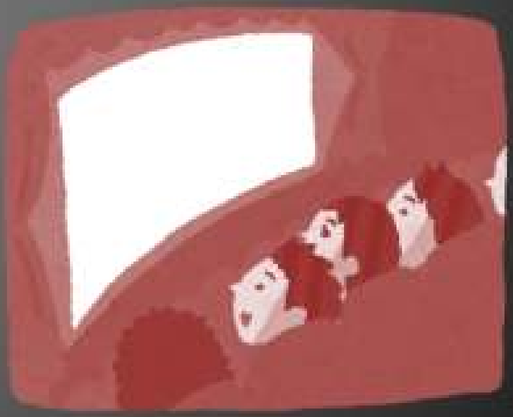
類例

11. *Dnes* *má-m* *kin-o.*

今日 *mít*-1SG.PRS 映画館-SG.ACC

「今日、私は映画館がある」(8)

<映画館に行くべきだ>



類例

12. *Dnes* *má-m* *Jan-a*.

今日 *mít*-1SG.PRS ヤン-SG.ACC

「今日はヤンがある」(9)

<ヤンとハナは毎週会うことにしている>

結論･今後の展望

- 所有文が表す関係カテゴリーの中にどう位置づけられるか
- 「何らかの規範に鑑みて」の由来とは
  - 所有権関係が他者によっても認められる
  - root modalとしてのmítの用法(～すべきだ)に隣接するものか

質疑の内容(一部)

- 逆に所有文で言えない例はあるのか
  - 目的語が「食べ物」だと難しい＝「カレーを持っている、カレーがある」のようには言えない
  - 「飛行機がある」も言えない
  - 英語だと、I have a plane to catch.のように、to不定詞が続いて可能になる例も

報告者の視点から

- ✓ have toに似てる？
- ✓ 他のゲルマン諸語には？
- ✓ I have lunch.は、訳自体は「食べる」となるが…

報告者の視点から

- ✓ Du: Wij hebben nu aardrijkskunde.

  「私たちはこれから地理の授業を受ける」

- ✓ Ge: Ich habe heute keine Schule.

  「私は今日は学校がない」

- ✓ Ge: Ich habe heute Abend noch zu arbeiten.

  「私は今晩まだ仕事をしなければならない」

吉岡乾氏

「ブルシャスキー語スリナガル方言で再構成されだした名詞クラス」

発表の趣旨

- 若年層において4つの名詞クラス崩壊
- 結果として5つのクラスに再構成された
- ナゲル方言との対照を通じて

ブルシャスキー語スリナガル方言

- ブルシャスキー語
  - 南アジア(パキスタン北部)の系統的孤立語
  - 話者数10万人
  - 膠着的、SV/AOV語順、能格を持つ
- スリナガル方言
  - スリナガル市ボタ･ラージ居住区
  - ナゲル谷からの移民の末裔から成るコミュニティ
  - ナゲル方言に最も近い

ブルシャスキー語スリナガル方言

ブルシャスキー語の名詞クラス

クラス	指示対象
ヒト男性 HM	男、少年、父、祖父、息子、兄弟、おじ、甥、神
ヒト女性 HF	女、少女、母、祖母、娘、姉妹、おば、姪、魔女、妖精
具象物　X	動物、果物、天体、三つ編み、乗り物、鬼
抽象物　Y	樹木、草花、葡萄の実、気象、建物、髪、液体、材質、時空間、概念

指示詞やコピュラなどの選択に影響

ナゲル方言における一致

• *k^{h}iné*	*hir*	*bái*	「この男だ」
この.HM.SG	男.HM	COP.HM.SG	
• *k^{h}iné*	*gus*	*bo*	「この女だ」
この.HF.SG	女.HF	COP.HF.SG	
• *k^{h}osé*	*huk*	*bi*	「この犬だ」
この.X.SG	犬.X	COP.X.SG	
• *k^{h}ot̪é*	*t̪om*	*d̪ilá*	「この木だ」
この.Y.SG	木.Y	COP.Y.SG	

ナゲル方言における一致

- *k^{h}ué hir-íkants báan* 「これらの男たちだ」
  この.HM.PL 男.HM-PL COP.HM.PL
- *k^{h}ué guɕ-íants báan* 「これらの女たちだ」
  この.HF.PL 女.HF-PL COP.HF.PL
- *k^{h}otsé huk-ái bió* 「これらの犬どもだ」
  この.X.PL 犬.X-PL COP.X.PL
- *k^{h}oké t̪om-ítɕaŋ bitsán* 「これらの木々だ」
  この.Y.PL 木.Y-PL COP.Y.PL

一般的な名詞クラスの崩壊

- Sands(1995: 255)を引用
  - 「名詞クラスの体系は動的であり、衰えたり失われたりする可能性を秘めている」
- 例えば、
  - ジルバル語
  - ニジェール・コンゴ語族クル語群、クロス・リバー諸語

スリナガル方言の若年層話者の間で名詞クラスに変化が…

スリナガル方言における一致

- *kʰiné* *hir* *bái* 「この男だ」
  この.HM.SG 男.HM COP.HM.SG
- *kʰiné* *gus* *bo* 「この女だ」
  この.HF.SG 女.HF COP.HF.SG
- *kʰosé* *huk* *bi* 「この犬だ」
  この.X.SG 犬.X COP.X.SG
- *kʰosé* *t̪om* *bi*
  この.X.SG 木.??? COP.X.SG
- *kʰot̪é* *sambá* *dilá* 「この考えだ」
  この.Y.SG 考え.Y COP.Y.SG

kʰot̪é t̪om d̪ilá

スリナガル方言における一致

- *kʰué* *hir-íkants* *báan* 「これらの男たちだ」
  この.HM.PL 男.HM-PL COP.HM.PL
- *kʰué* *guɕ-íants* *báan* 「これらの女たちだ」
  この.HF.PL 女.HF-PL COP.HF.PL
- *kʰotsé* *huk-ái* *bió* 「これらの犬どもだ」
  この.X.PL 犬.X-PL COP.X.PL
- *kʰoké* *t̪om-ítɕaŋ* *bitsán* 「これらの木々だ」
  この.Y.PL 木.???-PL COP.Y.PL
- *kʰoké* *sambá-miŋ* *bitsán* 「これらの考えだ」
  この.Y.PL 考え.Y-PL COP.Y.PL

スリナガル方言における一致

- *kʰiné* *hir* *bái* 「この男だ」
  この.HM.SG 男.HM COP.HM.SG
- *kʰiné* *gus* *bo* 「この女だ」
  この.HF.SG 女.HF COP.HF.SG
- *kʰosé* *huk* *bi* 「この犬だ」
  この.X.SG 犬.X COP.X.SG
- *kʰosé* *ṯom* *bi*
  この.X.SG 木.??? COP.X.SG
- *kʰoṯé* *sambá* *dilá* 「この考えだ」
  この.Y.SG 考え.Y COP.Y.SG

kʰoṯé ṯom ḏilá

スリナガル方言における一致

- *k^hué* *hirí-kants* *báan* 「これらの男たちだ」
  この.HM.PL 男.HM-PL COP.HM.PL
- *k^hué* *guɕ-íants* *báan* 「これらの女たちだ」
  この.HF.PL 女.HF-PL COP.HF.PL
- *k^hotsé* *huk-ái* *bió* 「これらの犬どもだ」
  この.X.PL 犬.X-PL COP.X.PL
- *k^hoké* *t̪om-ítɕaŋ* *bit͡sán* 「これらの木々だ」
  この.Y.PL 木.???-PL COP.Y.PL
- *k^hoké* *sambá-miŋ* *bit͡sán* 「これらの考えだ」
  この.Y.PL 考え.Y-PL COP.Y.PL

スリナガル方言における一致

- 複合時制の場合(Y類名詞*faarsí*を例に)
  - コピュラ単独の場合にY類形
  - 助動コピュラを用いた複合時制の場合にX類形
- 動詞語根の補充(*tsʰil*, *mobáil*を例に)
  - 「私にくれ」の場合、X類形・Y類形を棲み分け
  - 「お前にやろう」の場合、X類形・Y類形の線引きが曖昧

    ＊予稿集現物を参照

名詞クラスの再構成

クラス	指示対象
ヒト男性 HM	男、少年、父、祖父、息子、兄弟、おじ、甥、神
ヒト女性 HF	女、少女、母、祖母、娘、姉妹、おば、姪、魔女、妖精
動物　　A	動物、鬼
具象物　X	果物、天体、乗り物 樹木、草花、葡萄の実、建物、髪
抽象物　Y	気象、液体、材質、時空間、概念

名詞クラスの再構成

- 有生性によるA類の新設
- 「決まった形があるか否か」によるX･Yの分別
- より客観的な範疇化による体系へと変化

クラス	指示対象
ヒト男性 HM	男、少年、父、祖父、息子、兄弟、おじ、甥、神
ヒト女性 HF	女、少女、母、祖母、娘、姉妹、おば、姪、魔女、妖精
動物 A	動物、鬼
具象物 X	果物、天体、乗り物；樹木、草花、葡萄の実、建物、髪
抽象物 Y	気象、液体、材質、時空間、概念

質疑の内容(一部)

- 名詞のクラスが増えたと断言できるのか？
  - 単数・複数を分けて考えれば増えてはいない
  - 例えば、バントゥー諸語
  - スリナガル方言の場合も、ペアリングの変化にすぎないのでは？

➢ たしかに、一般論に逆らう現象である、と断言するのは難しい

報告者の視点から

- ✓ 報告者の専門言語
  - – 英語ではすべて消滅
  - – オランダ語、西フリジア語でも男性・女性が合流
  - – (ただし、文法性と名詞クラスは必ずしも同じではない、との説明あり)

ご清聴ありがとうございました